

# 本町小学校第二方面校

## 開校準備部会ニュース 第2号

発行日：平成27年4月3日

### 第2回部会 開催

- 日時 平成27年3月9日（月）10時から
- 場所 本町小学校

地域やPTA代表の方々、学校関係者からなる「本町小学校第二方面校開校準備部会」を設置し、新設校の通学区域案、学校名案、通学安全等について検討していきます。

### 決定事項等

- 通学区域案について、基本的には「事務局案」を候補案とすることになりました。
- ただし、一部地域については、本町小学校通学区域としたいという意見がありました。
- 学校名の考え方として、新設校の学校名に「本町」を入れるということを確認しました。
- 学校名選定方法については、アンケートにより校名を公募し、その結果をもとに部会で審議することになりました。
- 本日の議論を、各所属団体に持ち帰り、次回の部会で意見を報告してもらうことになりました。
- 次回は、通学区域案の決定、新設校の学校名案と通学安全について話し合うことになりました。

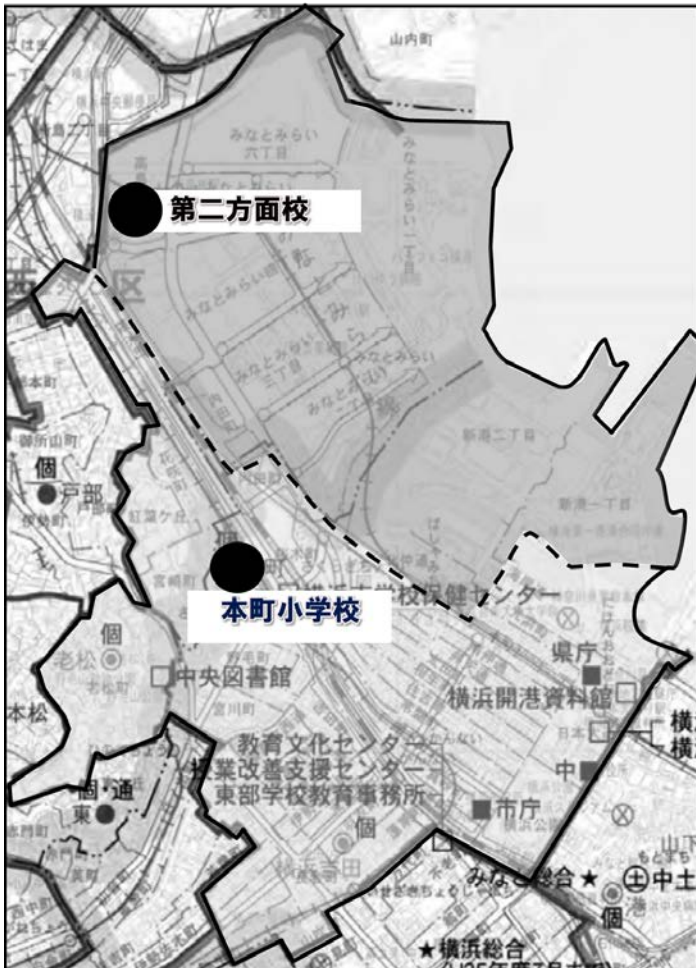
当日の様子



## 1 本町小学校第二方面校の通学区域案について

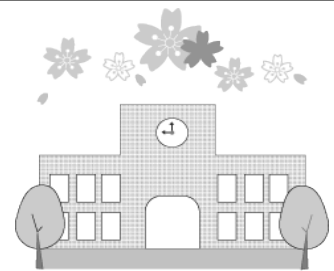
(事務局より説明、提案)

### ○ 通学区域図(案)



### ○ 新設校の通学区域(案)

- 西区  
高島一丁目、  
みなとみらい一丁目から六丁目まで
- 中区  
海岸通五丁目  
北仲通五丁目  
北仲通六丁目  
新港一丁目から二丁目まで



☆西区住民は西区にある第二方面校に、中区住民は中区にある本町小学校にという方が、交通網や距離を考えると良いのではないかと思います。

→行政区で分けた場合、西区老松町の周辺は本町小学校を通り過ぎて第二方面校に通学することになります。距離もあるため、厳しいと考えています。

☆長い距離を通学すると危険度が高まるので、中区シャレール海岸通は近くの本町小学校に通わせてほしいと思います。

→シャレール海岸通に関しては、仮に本町小学校の通学区域にした場合でも、児童の受け入れに問題はありません。

☆実際に学校の運営が始まると子どもの通学路を守るのは保護者です。

その時に個別に本町小学校と第二方面校を選べるようになっていけると、その地域を少ない人数で対応しなければならないことも考慮してほしいと思います。

大きなまとまりで近隣も同じ通学区域だからこそまとめていける状況があることも理解してほしいです。例えば、中区シャレール海岸通だけ本町小学校にしまうと、保護者間で「なぜ、自分のところは違うのか」ということになる可能性もあります。

大きく分けたうえで、事情がある場合には個別に対応するしかないのではないかと思います。

☆桜木町7丁目あたりの第二方面校に近いところは、第二方面校がいいのではないかと思います。

☆安全性を考えたら第二方面校の方が安全です。

ただ、通学区域として考えた場合には個々の事情があるので、そこを第二方面校の通学区域にできるのかは難しいところだと思います。

☆2つの視点で考えています。

1つは、コミュニティを分断するような通学区域はどうかという点。

もう1つは、通学路の安全確保の点です。

そういうことを考えると、北仲通北地区については、今後どのくらい増えるのかによって第二方面校にするのか本町小学校にするのか考える材料になると思うので、それについて教えてほしいと思います。

→北仲通北地区は、これからマンションの開発が見込まれています。

事務局としては、最大の児童数を見込んで第二方面校で受け入れるという案を提示させていただいています。



審議の結果、  
通学区域案について、**基本的には「事務局案」を候補案**とすることになりました。

ただし、シャレール海岸通については、本町小学校通学区域としたいという意見がありました。

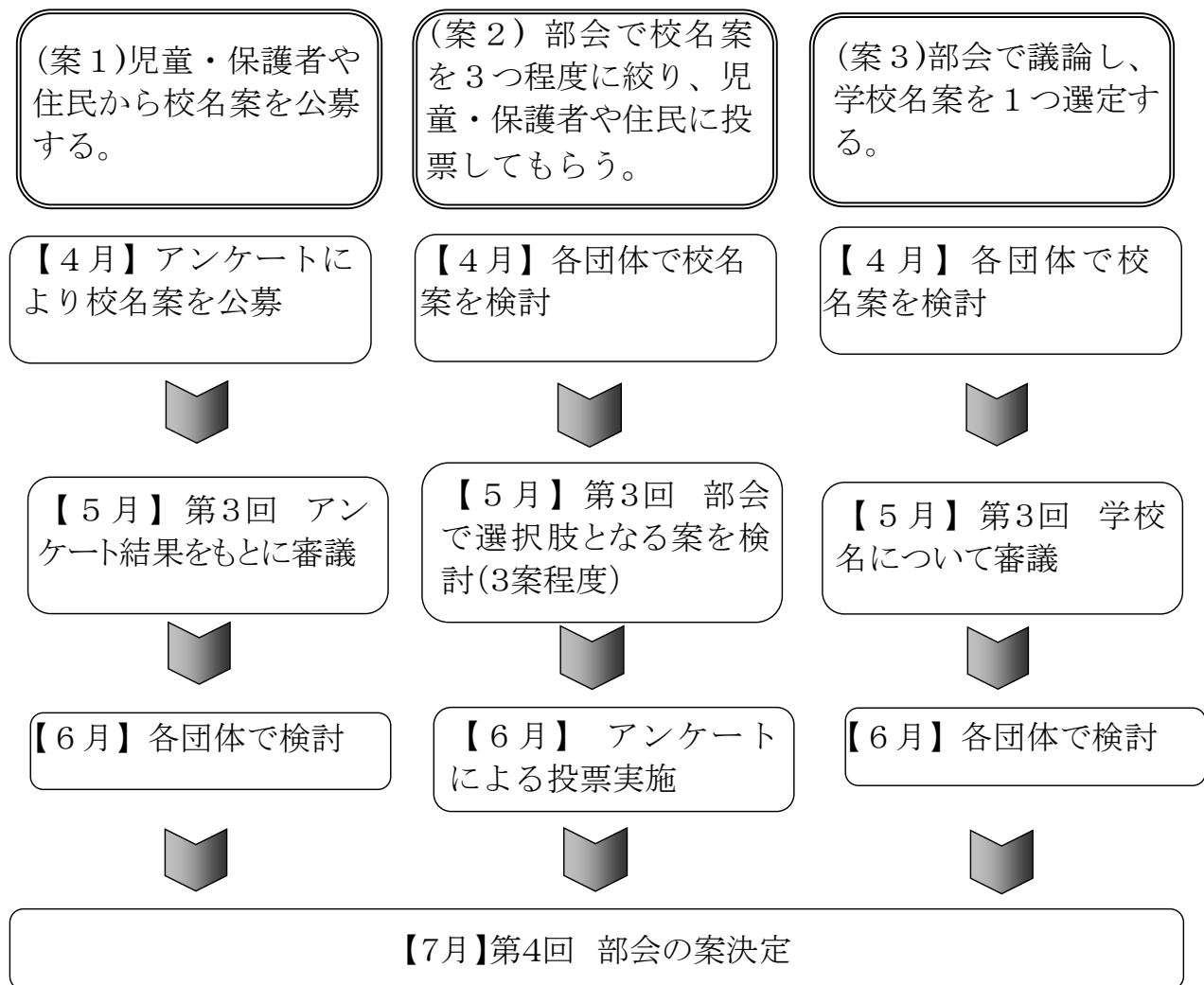
**第3回部会で通学区域案を決定**します。

## 2 学校名案の選定方法について

### 1 学校名選定の考え方

- 本町小学校とのつながりを重視して、新設校にも「本町」を入れた名前が望ましい。
- また、次のいずれかに該当するものは、選定しない。
  - (1) 市内に学校名が既に存在・類似するもの
  - (2) 学校名として長すぎるもの
  - (3) 本町小学校通学区域内以外の地名等や他地区と誤解されやすいもの
  - (4) 言いづらい、発音しづらいもの
  - (5) 人名に多いもの

### 2 選定方法及び選定の流れ



- ※ その後は、学校規模適正化等検討委員会、教育委員会、市会での決定を経る必要があります。
- ※ アンケートはあくまで参考であり、票数が多いものに必ずしも決まるわけではありません。

☆10年後に本町小学校に戻ってくるので、子どもたちのことを考えると「本町」という名前を残した方が良いのかなと思います。

☆自分は実際に新設校に移るという経験をしました。その時は寂しさもありましたが、「新設校に移って良かった」「新しい仲間と共に学校をつくっていく」という思いがありました。

ただ、子どもながらに「〇〇第二小学校」という数字が入った名前に抵抗があったので、そのあたりは考慮してほしいと思います。

☆保護者の方々、地域の方々、特に子どもたちの想いを大切にしたいので、案1の方法が良いと思います。

☆今は「転校」や「友達と離れる」など、どちらかというネガティブなイメージが先行しているように感じています。ここでどのような学校にしていきたいか、学校名を子ども達や保護者で考えることによって、新しい学校を楽しみにしてほしいと思います。

皆さんに意見を聞くことが、夢を託せる学校にしていく第一歩になればよいと思うので、案1が良いと思います。



審議の結果、**新設校の学校名に「本町」を入れる**ということを確認し、**案1を採用**することになりました。

学校名案選定方法については、アンケートにより校名を公募し、その結果をもとに部会で審議することになりました。

### 3 事務局に寄せられた意見・要望について

- ・新設校が開校して10年後、想定以上に児童数が増加した場合はどうするのかよく考えてほしい。
- ・防災上の安全について  
という意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。

#### 【第3回部会の日程】

★平成27年5月20日(水) 10時から 本町小学校にて

(検討予定内容)

1. 通学区域案の決定について
2. 新設校の学校名案について
3. 通学安全について
4. その他



#### ☆傍聴について

傍聴者の定員:5名(超えた場合、抽選) ※部会開始の30分前から10分前まで傍聴者の受付を行っています。直接会場にお越しください。

(※)本町小学校第二方面校開校準備部会の経過はホームページでもご覧になれます。

・本町小学校第二方面校開校準備部会

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/kadaikibo/honchodai2.html>



#### 【事務局 お問い合わせ先】

広く皆さまからのご意見ご質問を受け付けております。

FAXかEメールにて、教育委員会事務局学校計画課までご連絡ください。

TEL:045-671-3253 FAX:045-651-1417

Eメール:ky-honchodai2@city.yokohama.jp